

そう だい
総 題 「キリストにおける一致」

だい か れいはい いっち
第 1 1 課 礼拝における一致

ふじた まさたか
藤田 昌孝

「ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼(バプテスマ)を受け、その日に3千人ほどが仲間に加わった。彼らは、使徒の
おし そうご まじ さ いの ねっしん し と
教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに熱心であった」使徒2:41、42

バプテスマを受けたばかりの人々が信徒の交わり（教会）で何をしていたでしょうか。

「学び」と「交わり」と「礼拝」と「祈り」です。

わたし なに きょうかい つど じぶん ねが きょうかい おとず
私たちはいったい何をしに教会に集うのでしょうか？ 自分の願いをかなえてもらおうとして教会に訪れ
ひと ねが きょうかい こ ときどき さまざま りゆう きょうかい こ
た人が、願いがかなえられたとたんに教会に来なくなるということは時々あります。様々な理由で教会に来ら
れた方々もやがては「学び」「交わり」「礼拝」「祈り」「学び」を目的として教会に集えるようになれば幸い
です。

にちようび わたし そうぞうしゃ あがな めし れいはい
1. 日曜日：私 たちの創造者、贖い主を礼拝する

「御名の栄光を主に帰せよ。聖なる 輝きに満ちる主にひれ伏せ」詩篇29:2

れいはい らいさん かみさま かんしゃ かみさま ささ こうい
礼拝とは、礼賛（神様をほめたたえること）と感謝を神様にお捧げする行為です。

わたし わたし かみさま かんしゃ しゅ なさんび しゅ えいこう
私 ごとですが、私 は神様に感謝することはしますが、「主の名を賛美する」とか「主のご栄光をたたえる」と
いうことについてはあまり頻繁には（繰り返し繰り返し）していない気がします。一つの理由として、私の祈り
の多くが、公私にわたって願い事が多いからです。

しゅ な じかん わり すく しゅ いしき おも しゅ
主の名をたたえる時間がその割には少ないのです。主をたたえることを意識してゆきたいと思います。（主をた
たえることをいつもしてゆきたいと思います）

さて、私たちは何を思って神様に礼賛と感謝をお捧げするのでしょうか？それは神様のなしてくださった
そうぞう すく じゅうぜん あらわ くだ かた さま わたし そうぞう すく きねん び
創造と救いです。それを十全に表して下さった方がイエス様です。ですから私たちは創造と救いの記念日で
ある安息日に、イエス様をお礼拝するのです。

げつようび いっわ れいはい
2. 月曜日：偽りの礼拝

「また、わたしは、彼らにわたしの安息日を与えた。これは、わたしと彼らとの間のしるしとなり、わたしが彼らを聖別する主であることを、彼らが知るためであった」エゼキエル 20:12。

私たちの信仰は、私たちの行動によって育まれます。行動の伴わない信仰は衰えてゆきます(消えてゆきます)。

私たちは信仰によって救われますが、その信仰を維持してゆくには、行動が必要です。安息日を守ること、それは私たちが神様に創造された者、神様に救われた者であることを覚えるしるしなのです。

ローマ・カトリックはこのしるしをカトリックの十戒から取り除いてしまいました。安息日という言葉を取り除き、その代わりに「主の日」という言葉に変えてしまったのです(日本語訳では安息日は残っていますが、英語では「主の日」に変えられています)。それによってカトリックは礼拝日を日曜日に変えてしまいました。ローマ・カトリックの権威によってそれを行ったのです。私たちは、人の権威に従うべきでしょうか?それとも聖書の権威に従うべきでしょうか。

3. 火曜日：第一天使の使命

大声で言った。「神を畏れ、その栄光をたたえなさい。神の裁きの時が来たからである。天と地、海と水の源を創造した方を礼拝しなさい」黙示録14:7

「裁き」とはいったい何でしょう? それは区別されることです。何が正義で何が悪か、善悪が明らかにされることです。神様は愛と正義の方であり、悪魔は偽り者であることが明らかにされることです。

現在、世界は「宗教多元主義」(いろいろな宗教があつてそれぞれの価値観を認めること)を打ち出し、全ての宗教をそのまま一つにしようとしています。「登山口は多々あるが頂上は一つ」「宗教は多々あるが、神は同じ」と言うのです。

はたしてそうでしょうか?聖書をはっきりと語ります。「天と地、海と水の源を創造した方を礼拝しなさい」。終わりの時代には二つのグループしかありません。一つは真の神様を礼拝するグループ、もう一つは様々な偶像、龍と獣とを拝むグループです。

4. 水曜日：聖書研究と交わり

「そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された」ルカ 24:27

最初の教会員たちは何をテキストにして救い主を学んだでしょうか? イエス様は何をもってご自身を説明されたでしょうか? それは旧約聖書です。

イエス様の弟子たちは救い主の奇跡をたくさん見て来ました。しかしイエス様が逮捕されるやいなや、イエス様を疑います。

ところがイエス様の復活後、弟子たちは自分の命にかけてイエス様を伝え始めます。

何が弟子たちをかえたのでしょうか？ 考えられる理由は少なくとも三つあります。

① イエス様の復活をその目で見た。

② 聖霊を受けた。

③ イエス様との聖書研究です。

私たちは聖書研究を通して正される必要があります。

なぜなら「人が見て自ら正しいとする道でも、その終りはついに死に至る道となるものがある」(箴言14:12)からです。

5. 木曜日：パンを裂くことと祈り

「それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。「これは、あなたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい」ルカ 22:19

弟子たちはイエス様の教えを守り、パンを分け合いながら、イエス様の十字架の贖いとイエス様のご再臨を覚えてました。

また、弟子たちは祈りに熱心でした。祈りは神様を私たちの所まで引き下げるものではありません。

私たちが神様に向かって引き上げられるのです。

祈りの中で、私たちの願いは神様の願いと一致してゆきます。

それはちょうど磁石に引きつけられた鉄が、自ら磁力を持つようになるのと似ています。最初のアダムとエバは神様に似ていました。祈りの中で私たちも主の御姿に回復されてゆくでしょう。

ひとひと少年が1か月かけて、ヨットのラジコン模型を作りました。ところが湖に浮かべて航海しているうちに失ってしまいます。

ある日、町を歩いていると、ある模型屋のウィンドウに自分のヨットが飾られていました。ヨットは誰かが拾って店に売りに来たそうです。

「このヨットは、ぼくが作ったので返してくれませんか？」

「ぼうや、それはできない。私はこのヨットを高いお金で買っているからね」

「わかりました、では待っていてください」。

少年は急いで家に帰り、自分の貯金をすべて持って、お店に戻りました。そしてヨットを買い戻したのです。

しょうねん だいじ 少年は大事そうに、ヨットを^だ抱きしめながら、つぶやくのです。「お前は^{まえ}2倍^{ばい}ぼくのもの」「お前は^{まえ}2倍^{ばい}ぼくの
もの」「^{さいしょ}最初に^{ぼく}僕が^{まえ}お前^{つく}を作ったから。そしてもう一度、^{いちど}ぼくが^{まえ}お前^かを^{もど}買い戻したから」。
^{かみさま}神様も^{あんそくにち}安息日、^{おな}同じように^い言うてくださるにちがいありません。
^{まえ}「お前は2倍^{ばい}私^{わたし}のもの、^{さいしょ}最初に^{わたし}私が^{つく}造ったから。そしてもう一度^{いちど}か^{もど}買い戻したから」。